

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	優和福祉専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	1688 単位時間	160 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	優和福祉専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 http://ito-gakuen.ed.jp
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社会長	R. 2. 6. 16～ R. 6. 6. 15	豊富な業界経験と企業経営の知見・見識を活かし、教育方針の策定や学校経営について、意見・助言を行う。
非常勤	弁護士・公認会計士・ 税理士	R. 2. 6. 16～ R. 6. 6. 15	法律・会計の専門知識を活かし、リーガル面・財務面を中心に学校経営に関する検証と改善に向けた意見・助言を言う。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	優和福祉専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の授業計画と実施内容・方法について、学生の到達度を参考に評価する。 ・カリキュラム全体を見渡し、学科進度・授業・介護実習についてその内容・方法を検討し、授業計画を立案する。シラバス完成後、年度初め(4月初旬)に学生に配布し説明するとともにホームページにて公開する。 	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の把握として、授業の出席状況、参加度、成果物等を平常点とし、科目の履修認定試験の得点に加味して評価する。 ・履修認定の評価基準・方法は、履修規定・細則に基づき認定することを年度初めに「学生便覧」(学則、履修規定・細則掲載)を配付して、学生に周知している。 ・卒業論文は、「事例研究」科目授業で論文作成方法を説明し、介護実習での利用者事例の介護過程を展開研究する。事例を基に教員の個別指導を通して、論文を作成する。事例研究の発表の場として「卒業論文発表会」を実施し、施設の実習担当者等の質疑応答、講評を受け修正等を加え、卒業論文としてまとめたものを評価する。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修認定試験日程については、年度初めに年間行事計画で提示する。試験範囲・評価方法についてはシラバス等で明示する。試験期間 2 週間前にスケジュールを掲示する。 試験後合否を学籍番号で掲示。模範解答と解説をする。 ・実技試験については、練習時間を十分に設定し、助言指導。実技試験項目のチェック項目を示し、100 点満点で評価する。 ・成績は学期ごとに成績表として学生の自宅宛てに郵送し、履修認定状況を通知する。 ・科目ごとに平均点・最高点・最低点を示し、80～100 を A 79～70 を B 69～60 を C 59 以下を D と表記する。 ・試験問題・模範解答は年度毎に保管し、問い合わせに応じる。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp 閲覧希望者に書面で開示</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての科目において授業時間の 3 分の 2 以上の出席をもって、履修認定試験の受験を認める。 ・介護実習においては、5 分の 4 以上の出席をもって、実習評価を受ける事ができる。 ・医療的ケアについては、全ての時間の出席をもって筆記試験の受験資格を得る。筆記試験は 90 点以上を合格とする。筆記試験合格後に実技試験に臨む。 ・実技は 5 回以上実施し、全てのチェック項目が手順通りに実施できることをもって合格とする。 ・当校のすべての科目の履修認定試験に合格した者に卒業を認め、専門士(社会福祉専門課程)の称号を付与する。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧に明記。ホームページにて公表 http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp 閲覧希望者に書面で開示</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	優和福祉専門学校
設置者名	学校法人 伊藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	閲覧希望者に書面で開示
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開（ http:// ito-gakuen. ed. jp ） 閲覧希望者に書面で開示
財産目録	ホームページにて公開（ <a a="" ed.="" href="http:// ito-gakuen. ed. jp）
閲覧希望者に書面で開示</td> </tr> <tr> <td>事業報告書</td> <td>閲覧希望者に書面で開示</td> </tr> <tr> <td>監事による監査報告（書）</td> <td>ホームページにて公開（<a href=" http:="" ito-gakuen.="" jp<="">） 閲覧希望者に書面で開示

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,926 単位時間	1344 単位 時間	94 単位 時間	480 単位 時間	0 単位 時間	8 単位 時間
			合計 1,926 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		28 人	0 人	4 人	22 人	26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・教員会議（教育課程編成委員会）にて、カリキュラムの検討を行い、翌年度カリキュラムを作成する。会議の検討を踏まえて、教員に授業依頼をし、シラバスの作成も合わせて依頼する。
成績評価の基準・方法
（概要）・授業時間数の3分の2以上の出席により、履修認定試験の受験を認め、60点以上を合格とする。 ・介護実習については実習時間の5分の4以上の出席により、評価資格を得る。成績はいずれも100点満点とし、60点以上を合格とする。 ・医療的ケアについては50時間すべての出席により評価資格を得る。学科試験は90点以上、実技は各5回以上実施し、評価項目全てをクリアすることで履修を認定する。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)・当該年度のすべての科目(介護実習を含む)の履修認定試験に合格することで、進級を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の定めた指定規則の科目の履修認定試験すべてに合格した者に卒業を認定し、「専門士」の称号を付与する。 履修認定試験すべてに合格した者に卒業認定会議において卒業を認定する。
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の遅れがみられる学生には、学修支援等必要に応じて個別指導を行う。 認定試験の受験資格を失わないよう出席時間も含めて助言指導する。やむを得ない事情で実習を欠席した学生には補習実習の時間を確保し、評価を受けられるように配慮する。不合格の場合には、追試験を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・障害者支援施設 等			
(就職指導内容) 就職希望調査、職場体験、事業所での催し物でのボランティア参加案内、面接指導、履歴書の書き方指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士国家試験受験資格・大学3年次編入資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	2人	8.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別の進路指導、進路相談を実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	150,000 円	580,000 円	210,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学内に自己評価委員会を設置し、評価基準項目に則り評価実施する。自己評価委員会では自己評価報告書を作成し、その自己評価の結果を当校関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。また、学校関係者評価委員会の評価結果をまとめ、ホームページ上に公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 山梨県介護福祉士会	令和2年2月1日～令和4年3月31日	介護福祉士
社会福祉法人 信和会	令和2年2月1日～令和4年3月31日	有識者
社会福祉法人 山梨檜の会	令和2年2月1日～令和4年3月31日	介護福祉士
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://yuwa.ito-gakuen.ed.jp
--

